

# 令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会 第 5 ブロック研修会

## 次第

日時：令和元年 11 月 24 日(日)午後 2 時 00 分

会場：調布市グリーンホール小ホール

都市社連協統一テーマ：学びと活動の循環をつくる

～ 『つながり』と『地域課題の解決』を促す社会教育の推進～

第 5 ブロック研修テーマ：「市民参加演劇で不登校問題を考える」

1 開会の辞

2 開催市あいさつ

3 来賓あいさつ

4 研修会

演劇「トシドンの放課後」上演（14時20分～15時20分）

5 休憩

一般観覧の方はご退席願います。

6 全体討議

7 閉会の辞



# トシドンの放課後

作：上田美和 演出：篠崎光正



作・・・上田美和  
演出・・・篠崎光正  
美術・・・M.S. コルヴィジェ  
照明・・・黒尾芳昭  
照明オペレーター・・・西牧委員  
音響・・・小塚たか子  
音響オペレーター・・・宮下委員  
大道具・・・細川委員・進藤氏・阿部将生  
                  入来悠大・篠崎議長  
小道具・菊池委員・進藤委員・矢幡委員  
衣装・・・荒井委員・菊池委員

映像撮影・・・矢幡委員  
舞台監督・・・阿部将生・入来悠大  
お面（トシドン）制作・・・芦川先生  
                  （調布市立第二小学校）  
稽古場提供・・・白百合女子大学  
小道具協力・・・高津舞台美術装飾  
制作協力・・・シノザキスタジオ  
照明協力・・・アザー  
上演制作準備・・・  
                  調布市教育委員会教育部社会教育課

高校の生徒相談室。男子生徒が一人、本を読んでいるところへ、教師が女子生徒を無理やり引っ張って入ってくるところから劇は始まる。男子生徒は別室登校中の平野強（つよし）、女子生徒は学校謹慎中の森田あかね。この二人が出会いを通して、互いに成長していく様子を描いた作品。

役 森田あかねのセリフ

## 普通がそんなによかこっか！

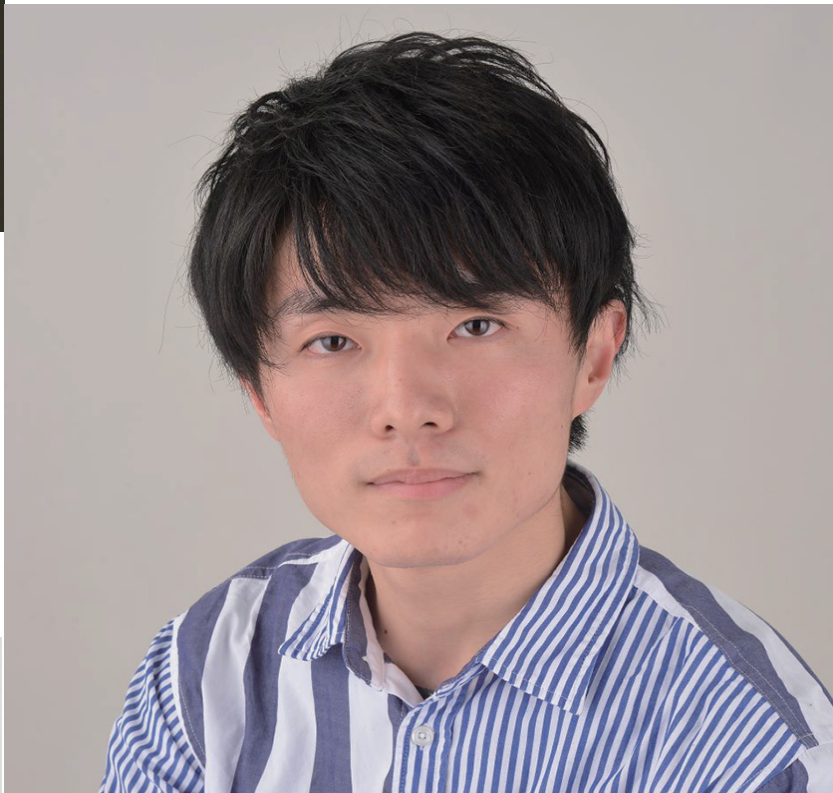
## cast

森田あかね 吉田茉咲



卒業公演後、知り合いから「君にピッタリの役があると誘われる。胸を躍らせて台本を読むと「恋愛馬鹿ヤンキー少女」あれ？私から程遠いぞ？でも読み進めると根は優しい不器用で素直な女の子。なるほど確かに私だ。  
吉田茉咲

平野強 清水裕翔



別室登校には覚えがある。近しい人、彼女の心はどうなっていたのだろうか。想像も、理解も、すべてが出来るわけではない。だけど、少しでも、いま、悩んでいる誰かの心に響いてくれれば。清水裕翔

初めて教師という役を演じさせていただきました。生徒一人一人と向き合うことは大変だと思います。それでも、やはり一人の人間として向き合って欲しいと思いました。この作品が少しでも今後の教育のためになれば幸いです。

みぞぐちあすみ

教師 みぞぐちあすみ





# 調布市の不登校支援（資料）

令和元年 調布市社会教育委員の会議

## 不登校とは

文部科学省の調査では、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいはしたくともできない状況にあるため年間 30 日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」としています。

## 相談体制

- **教育支援コーディネーター**： 不登校や家庭と学校の問題を解決するための支援員です。SSW と連携して、学校生活で感じている疑問や困りごとの解決に向けサポートしていきます。
- **スクールソーシャルワーカー（SSW）**： 社会福祉等の専門的な視点で教職員や保護者に助言して支援していきます。家庭訪問などをして、不登校児童・生徒の対応についても共に考えます。
  - ◆ご相談： 教育支援コーディネーター室（Tel：042-481-7718）
- **教育相談所**： 3 歳くらいから 18 歳くらいまでの、友達とうまくいかない、集団になじめない、落ちつきがない、学校に行きづらいなど、お子さんに関する心配ごとについての相談を受けています。◆問合せ： 教育相談所（Tel：042-481-7633）
- **すこやか**： お子さんの発達についての心配事、子育て相談、家庭に関する相談、また、お子さん自身からの相談などを受け付けています。必要に応じて、他機関・専門機関と連携します。市内在住の 18 歳未満の児童及びその保護者の子どもと家庭に関する相談を受けています。◆ご相談： Tel 042-481-7731

## 不登校支援

### 「太陽の子」（適応指導教室）

太陽の子は、調布市立小学校に在籍する児童で、心理的要因等により不登校状態又はその傾向にある児童に対し、原籍校復帰に向けた指導等を行う教室です。

小集団での学習・活動等を通して、自立と集団生活への適応力を育てます

主な特徴（基本方針）

- ・一人一人の子どものおよさや特性を認めて励まし、自信をもたせます。
- ・カウンセリングや友達との関わりを通して、豊かな人間関係づくりと人への信頼を育てます。
- ・体験学習や校外学習など、子どもの興味や関心のある活動を取り入れ学ぶ意欲を高めます。
- ・一日の生活リズムをつくり、自立する力を育てます。

◆問合せ：教育支援コーディネーター室、Tel 042-481-7718

### SWITH(スイッチ)プロジェクト

調布市立小・中学校全校(28校)で実施しています。

不登校対策の一環として、東京学芸大学と連携して行っている事業です。

#### □ メンタルフレンドの派遣事業

メンタルフレンド(教職・学校心理を専攻する学生を活用)は、家庭や学校を訪問し、登校できない児童・生徒をサポートしています。

活動内容は、基本的には、本人・保護者・教員との相談等によって決めています。児童・生徒の学習の補習、話し相手、一緒に運動を楽しむなどの活動を行っています。

#### □ 児童・生徒支援個別支援票

不登校傾向にある児童・生徒の早期把握、教職員間の情報共有を図り、効果的な支援計画を立てることを目的として、学校が児童・生徒の記録を作成し、東京学芸大学が助言するものです。

#### □ テラコヤスイッチ

不登校生徒(中学生)等を対象に、学習するきっかけづくりや、小集団で共に楽しく過ごすことを目的とした活動を行っています。(週に1度、2時間)

学生スタッフが、小集団でのかかわりや個別指導にあたっています。支援を受けた生徒たちは、テラコヤでの経験や勉強したことが自信となり、進学や自分の決めた進路に進んでいます。



## 調布市立第七中学校「はしうち教室」

調布市教育委員会では、不登校児童・生徒を対象とした多様な学びの場を提供するとともに、その学びの場が、一人一人の児童・生徒の状況を十分に把握し、充実した支援となるよう支援体制や支援内容を整備しています。そのために、義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律(教育機会確保法)に基づき、不登校生徒が社会的に自立することを支援する新たな学びの場として平成30年4月に「はしうち教室」が設置されました。また、将来的に分校への移行を見据えた取組を推進しています。

- 対 象** 調布市立中学校の生徒で、心理的な要因により、通常の学級において不適應を起こし、不登校となっている生徒、その他調布市分教室入退室検討委員会が適当と認めた生徒
- 所在地名の由来** 調布市立第七中学校「はしうち教室」(調布市菊野台3-27-38 大町スポーツ施設内)  
「はしうち」とは、卵から雛がかえるときに、雛が殻の内側をつきやぶろうとする状況に、親鳥が外側から援護して殻を壊す行為を言います。自分の殻を打ち破り、自立しようとする思いに、教員が寄り添い指導・支援する様子をたとえてつけられました。
- 主な特徴**
- ・ **個別学習の時間を設定**  
一人一人の状況に応じた指導体制の充実を図るために「個別学習」の時間を設定し、不登校による未学習の内容を補う時間を確保します。
  - ・ **単位の軽減**  
年間の総授業時数1015時間 ⇒ 910時間の低減としています。  
尚、朝の時間のゆとりを考え、午前3単位時間、午後2単位時間を基本に設定しています。  
※1単位時間は50分
  - ・ **コミュニケーション力や表現力を向上する取り組み**  
各教科等で習得した知識・技能を、各自の興味・関心のある学習内容に活用し、自分の得意とする手法で表現する「表現科」を設定しています。また、不登校生徒のコミュニケーション能力の向上を図ることを目的とした教育活動を充実させています。
- ◆問合せ (第七中学校「はしうち教室」(中学生)について) 指導室 Tel 042-481-7479

## 調布市子ども・若者総合支援事業「ここあ」

家庭の事情等により、進学や就職をあきらめてしまうことがないよう、学習支援や居場所の提供、進学や自立に向けた相談を行っています。居場所事業は、不登校の中学生や高校中退、ひきこもり等の状態にある概ね15歳以上の子ども・若者が対象。マンガを読んだり、ゲームをしたり、自分の好きな時間を過ごせる心地よいスペースを提供しています。多様なプログラム活動のほか、復学や高校中退予防のための学習サポートも行っています。利用者スタッフの交流を深めるイベントも行い、「ちょっとしたことでも相談できる」関係づくりを大切にしています。

- 対象年齢** 相談：概ね中学生以上の子ども・若者・およびその家族、ひとり親家庭  
居場所：不登校の中学生、高校中退、ひきこもり等の状態にある概ね15歳以上  
学習支援：生活困窮家庭の中学生等
- 場 所** 総合福祉センター5階 調布市小島町2-47-1 (調布駅 徒歩1分)
- 利用時間** 相談事業：10:00~20時00分(木曜日のみ10時~17時)  
居場所：月・火・水・金 10時~18時  
学習支援：月・水・金 18時~20時  
※居場所と学習支援について、利用日時は相談によります。
- 休 み** 土・日・祝日・年末年始
- 料 金** 無料
- 利用方法** 相談：電話またはメールにて直接ご連絡ください。  
居場所・学習支援：見学・体験ができます。正式な利用は事前申込みと面談が必要です。
- ◆問合せ 電話 042-452-8816 FAX 042-452-8817 メールアドレス cocoa@ccsw.or.jp